

震災によって生まれた「絆」のその先には
誰かが誰かを思う気持ちが溢れていました♡

宮城県気仙沼市唐桑半島 鮭立。美しい入江を見下ろす高台に
民宿「唐桑御殿つなかん」があります。

100年続く牡蠣の養殖業を営む菅野和享さんと一代さん夫妻は、
東日本大震災当時、津波により浸水した自宅を補修し、学生ボランティアの拠点として開放、
半年間で延べ500人を受け入れてきました。若者たちに「つなかん」と呼ばれたその場所は夫妻
の「皆がいつでも帰ってこられるように」との思いから、2013年の秋に民宿に生まれ変わります。
女将となった一代さんは、自慢の牡蠣やワカメを振る舞い、土地の魅力を自ら発信。そんな「つな
かん」に引き寄せられるかのように、次々とこの地に移り住む元ボランティアの若者たち。彼らは
海を豊かにする森を育てたり、漁師のための早朝食堂を営んだり、移住者のサポート体制を整え
たりと、地域に根ざしたまちづくりに取り組み始めます。復興のその先を見つめる一代さんと若者
たち。そんなある日、海難事故が発生。養殖業を廃業し、閉じこもりがちになった一代さんを思い、
全国各地から「つなかん」に集まってくる元ボランティアや仲間たち。涙なみだの時を経て、民宿
は再開。いつしか若き移住者たちは新しい命を授かり、地域を担う立場となっていきます。そして、
コロナ禍による民宿存続の危機の中で迎えた2021年3月11日。震災から10年という節目を機
に、一代さんは大きな一歩を踏み出そうとしていました。



民宿
唐桑御殿
つなかん
とは

tuna → tuna-kan ← kan
鮭立 つなかん 菅野

唐桑のシンボルでもある大きな入母屋造の唐桑御殿。遠洋マグロ漁
が最盛期の頃、漁師たちは歸るように立派な家を作った。東日本大
震災当時、菅野夫妻が開放した唐桑御殿の自宅を、学生ボランティア
たちは親しみを込めて「つなかん」と呼んだ。民宿となった今も全国
から多くの人々が訪れている。2023年、民宿開業10周年を迎える。

「つなかん」で積み重ねられる年月を10年以上にわたり記録したのは、当時テレ
ビ報道の現場にいた現役ディレクターの風間研一（本作初監督）。語りを菅野
夫妻と親交があり、現在も気仙沼に通い続ける俳優の渡辺謙が担当し、音楽を
気仙沼出身・仙台在住で、みなと気仙沼大使も務めるジャズピアニスト・岡本
優子が書き下ろした。また、糸井重里や伊達みきお（サンドウィッチマン）など、つ
なかんや気仙沼にゆかりの深い人々も登場する。全国ニュースで放送され多く
の反響を呼んだ一代さんの物語に新たなシーンを加えた待望の映画化。

ただいま、つなかん



語り：渡辺 謙

監督：風間研一 | 音楽：岡本優子

ゼネラルプロデューサー：齋藤隆平 | プロデューサー：柴崎木緒子 | 編集：井上秀明
配給宣伝協力：ウッキー・プロダクション | 宣伝協力：リガード | 製作著作：文化工房
2023年 | 115分 | 16:9 | カラー | DCP | 日本 | ドキュメンタリー | ©2023 bunakakobo



映画の最新情報は ▶▶ <https://tuna-kan.com> [tuna.kan2023](https://www.facebook.com/tuna.kan2023) [tuna_kan_movie](https://twitter.com/tuna_kan_movie) [tuna.kan.movie](https://www.instagram.com/tuna.kan.movie) [@tuna_kan_movie](https://www.tiktok.com/@tuna_kan_movie)

東日本大震災から十五年、
被災地の歩みを知り私たちの未来を考える

日 時：2026年3月23日（月）18:30-21:30（18:00開場）
場 所：長崎市片淵4-2-1 長崎大学経済学部 本館 22 講義室
対 象：講座内容に関心のある方はどなたでも受講可
内 容：一 講義 18:30-19:25 講師 経済学部・准教授 山口純哉
「東日本大震災から15年を経た被災地の現状と課題」
一 上映 19:35-21:30 映画「ただいま、つなかん」
講習料：1,000円・高校生以下無料（申込み後通知する口座に事前振込）
申込先：当日12:00締切・右記二次元バーコード・下記連絡先
連絡先：申し込み－長崎大学経済学事務課総務係 ecso@ml.nagasaki-u.ac.jp
講座内容－准教授・山口純哉 junya-y@nagasaki-u.ac.jp

